

比内地鶏の情勢

平成29年5月
畜産振興課

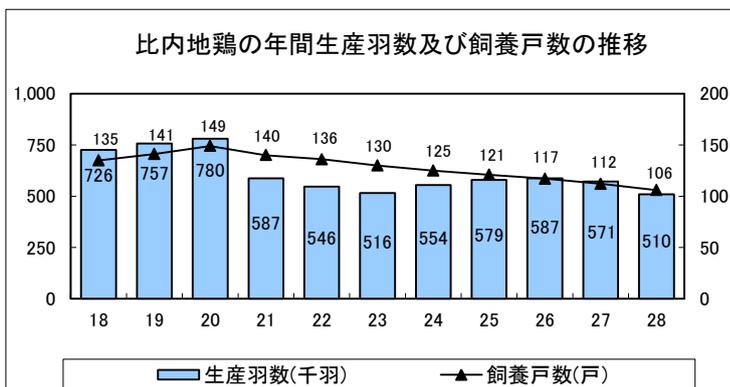
1 飼養動向

- ・飼養戸数は、平成16年以降140戸前後で推移していたが、近年は減少傾向にあり、28年の飼養戸数は前年比△6戸の106戸となった。
- ・なお、県北地域における飼養戸数は84戸で、全県の約80%を占めている。
- ・生産羽数は、全国各地の地鶏の台頭などによる需要の減少から26年を境に減少に転じ、28年は主産地での生産調整の実施もあり、前年比89%の510千羽となった。
- ・なお、県北地域における生産羽数は471千羽で、全県の90%以上を占めている。
- ・1戸当たりの生産羽数は、前年比94%の4,811羽と減少した。

○ 飼養動向の推移

年次	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
飼養戸数	135	141	149	140	136	130	125	121	117	112	106
前年比	94%	104%	106%	94%	97%	96%	96%	97%	97%	96%	95%
生産羽数	726	757	780	587	546	516	554	579	587	571	510
前年比	110%	104%	103%	75%	93%	95%	107%	105%	101%	97%	89%
一戸当たり	5,378	5,369	5,235	4,193	4,015	3,969	4,432	4,785	5,017	5,098	4,811
前年比	116%	100%	98%	80%	96%	99%	112%	108%	105%	102%	94%

(単位：戸、千羽、%)
(畜産振興課調べ)



○ 市町村別順位 (平成28年)

- ・生産農家数の多い市町村
①大館市(35戸)、②北秋田市(20戸)、
③能代市(12戸)、④三種町(6戸)
⑤上小阿仁村、由利本荘市、大仙市(5戸)
- ・生産羽数の多い市町村
①大館市(257千羽)、②北秋田市(113千羽)、
③三種町(37千羽)、④上小阿仁村(23千羽)、
⑤能代市(21千羽)、⑥由利本荘市(20千羽)

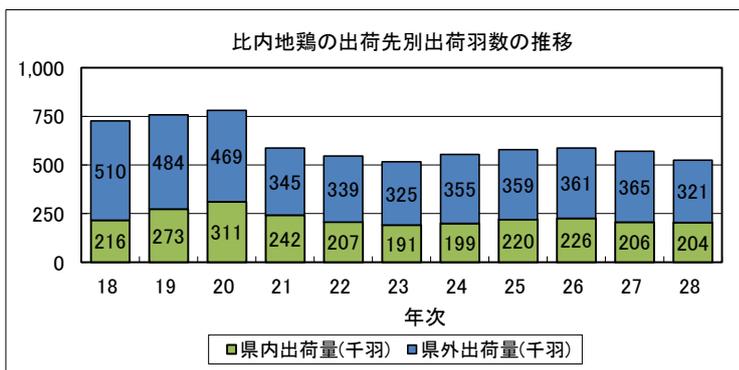
2 流通動向

- ・28年の出荷先内訳は、県内向けが全体の39%の204千羽、県外向けは61%の321千羽であった。
- ・県外向けは前年比3ポイントの減少となった。

○ 流通動向の推移

年次	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
出荷羽数	726	757	780	587	546	516	554	579	587	571	525
前年比	110%	104%	103%	75%	93%	95%	107%	105%	101%	97%	92%
県内出荷量	216	273	311	242	207	191	199	220	226	206	204
構成割合	30%	36%	40%	41%	38%	37%	36%	38%	39%	36%	39%
県外出荷量	510	484	469	345	339	325	355	359	361	365	321
構成割合	70%	64%	60%	59%	62%	63%	64%	62%	61%	64%	61%

(単位：千羽、%)
(畜産振興課調べ)



○ 出荷先別割合 (平成28年)

